

“ここにあり、一欠片の温もり”

世界中に苛立ちを感じていたあたしは、クラスの男子とはまるで違う魅力を持つハルと出会う。ハルはあたしを認めてくれるものの、いなくなってしまう。

小さな町の片隅に出来た喫茶店、Disce gaudere。そこは、マスターにとってようやく辿り着く事が出来た新世界だった。

高校を卒業したあたしはCDショップに就職。ハルとの再会を果たすものの上手く気持ち伝わらず終わる。

帰りの道中立ち寄ったDisce gaudereでマスターのアドヴァイスを受けたあたしは、再度ハルの元へ戻り言いたい事の全てを言いきる。